

国際外交 踏み出す台湾

「中国は張り子の虎(と)か、台北の外交関係者が解説を加える。」

「中国は張り子の虎(と)か、台北の外交関係者が解説を加える。」
「中国は張り子の虎(と)か、台北の外交関係者が解説を加える。」
「中国は張り子の虎(と)か、台北の外交関係者が解説を加える。」

「子供っぽいやり方だ。」
李登輝總統はフリン、イ
ンドネシア、タイ三國訪問が
ら帰った土曜深夜、空港で
の記者会見で、中国がこれ
三國に加えられた物(レトリ
ク)な抗議についての見解を
聞かれて、北京をう半ば擲
なげ、北京が子供っぽいの
で、台湾は中華人民共和
国が中国の唯の合法政府
で、台湾は中華人民共和
国が中国の唯の合法政府
で、台湾は中華人民共和
国が中国の唯の合法政府

攻勢の背景

領土の不可分の一部という
ものだ。
「それほど唯一の合法府
と主張するのなら、ぜひ務
に行政界を出して李總統の外
交訪問を中止させ、ついでに
パスポートも取り上げてしま
う」というのでなく、たんに
外交関係者、中国にそんな
なことをできはしない。張り
子の虎とみるゆえである。
こうした台湾の強気の姿勢
は、一九八七年以来の大陸と
の交渉で得た自己体験から発

「中国は張り子の虎」日本もNOを

しているだけではない。より
重なるとは国際政治の帰結
でもあるということだ。
台湾を長期支配した蔣介石
石、蔣經國時代は、冷戦と名
の中国承認ラッシュの時期
に当たり、綿綿が外遊する
と、蔣無に近かった。台湾は
封じ込められていた。初の総
統外遊は一九八九年五月の李



深夜にもかかわらず1時間以上にわたって記者会見した李登輝總統
—16日、台北国際空港

できなくなるといっただけで
は説明できない。台湾ナンバ
ーワンの外遊に對し、アジア
太平洋地域の利益は強い関心
をもち、米、日、欧米を唯
の非公式首脳会議(PIP)と
もして、北京は報復には
出でるだろう。台湾が外交
関係を持つ二十九カ国の切り
崩しは、これは単に権威立後
の南アフリカや、年末のイン
ドネシアにおけるアジア太平
洋経済協力会議(APEC)の
非公式首脳会議への李總統
の出席阻止などだ。しかし、
かつてのように台湾を政治的

日本もNOを
の地域の安定を少しでも損な
う可能性があれば、米國は阻
止に動いたはずだ。その兆候
はない。三國訪問が実現した
ことが何よりの証拠だろう。
もちろん、北京は報復には
出でるだろう。台湾が外交
関係を持つ二十九カ国の切り
崩しは、これは単に権威立後
の南アフリカや、年末のイン
ドネシアにおけるアジア太平
洋経済協力会議(APEC)の
非公式首脳会議への李總統
の出席阻止などだ。しかし、
かつてのように台湾を政治的

にほぼ完全に封じ込める力は
ないだろう。それを可能にし
た論戦状況が、この地域でも
消えりかけているからだ。
これが「中国」張り子の
虎一説の国際的側面だ。台湾
が経済的の強さで政治的に
も強気に出てきた背景だ。こ
の政勢は、当然、強さす日本
にも向けられる。いや、すで
に声がかかっている。
「日本は市場開放問題で米
國に初めてNOを言った。H
2ロケットも打ち上げた。そ
の日本が李登輝總統の母校・
京都大学訪問にYIEが言え
ない。タイやインドシナな
どに比べても、頼もしくない
日本(と)は、どうも得ない
んです。APECの指導者とし
て日本は強くあるべきだ」
こう語る王友仁、中国文化
大学教授(台北)は「中国に
もNOが言える日本を」と呼
びかけ始めた。これを張り子
の虎が下敷きになつた立論
だが、さて日本は受け止
めるのだろうか。
(台北 吉田信行)